

外 郭 团 体

高萩市山林防火普及協会

当市地域の山林面積は、157.02 k m²と広大であり、市面積の実に 81.1%を占め、市産業の主たる一翼を担っております。

近年この山林には、秋より春にかけて、焚火の不始末、タバコの投げ捨て、子供の火遊び、火入れ等により火災が多く発生しております。従来、山林火災は、年間 1~2 件にとどまっておりますが、過去には、昭和 41 年に 13 件発生（焼損面積 391.5 a、損害額 500 万円）、昭和 42 年上半期に 9 件発生（焼損面積 410 a、損害額 300 万円）、また、おもな事例として、昭和 14 年には 500 h a を焼失、昭和 33 年に 30 h a を焼失しています。

現在においても、上述と同等、またはそれ以上の山林火災の発生が懸念されております。そこで、山林火災の発生を防ぐため、高萩市消防本部と茨城森林管理署高萩事務所、高萩市森林組合が主体となり、昭和 42 年 8 月 26 日当協会を結成、事業を開始し、現在に至っております。また、昭和 48 年 11 月 20 日、林野庁長官から森林国営保険事業の発展へ寄与したとして表彰されました。

- 1 会 員 正会員（山林所有者、愛林組合員、部分林組合員）
特別会員（この会の目的及び運営に賛同した者）
名誉会員（警察署、消防本部、森林管理署、農林行政関係者）
- 2 会 費 会員の拠出による
- 3 事業内容 （1）山林の火災予防の啓蒙宣伝、広報
（2）山林の名所、要所への火気注意、山火事防止立て看板の設置
（3）山林パトロール、火災予防警戒
（4）山林防火監視員の配置と活用
（5）功労者の表彰など
（6）高萩市婦人消防クラブ連絡協議会、緑の少年団育成協議会への協力
- 4 会 長 鈴木 直登

高萩市防火管理者協議会

当管内の防火対象事業所の防火管理者は、各々の事業所の防火管理について努力されているが、最近の火災の現況から小都市の事業所といえども安閑としておれない状況にあることにかんがみ防火管理者が互いに防火管理の技術について研究、情報の交換を行うと共に、消防機関と密接なる連絡を保持することが災害の未然防止及び損害を減少するのに必要であるとの見地から昭和 42 年 4 月に当協議会を発足し、事業を開始した。その後、防火管理者資格取得講習会、火災予防運動等を通じて会の進展に努めている。

- | | |
|--------|---|
| 1 会 員 | 101 事業所（令和元年度） |
| 2 事業内容 | (1) 防火管理についての研究、情報交換
(2) 防火管理者資格取得講習会・研修会を実施
(3) 火災予防運動の協力
(4) 各種警報器具、消火器の取扱い、避難誘導についての訓練
(5) 消防機関との連絡
(6) ポスター等の配布
(7) 住宅用火災警報器設置促進活動の協力
(8) 優良事業所及び優良防火管理者の表彰を行う
(9) 先進地の視察研修を行う
(10) その他この会の運営に必要な事業を行う |
| 3 会 費 | 会員の拠出による |
| 4 会 長 | 大足 光司（日本そば うらじ） |

高萩市危険物安全協会

当会は昭和 34 年 8 月 11 日高萩地方（高萩市及び十王町）危険物安全協会として発足した。その後、消防署の発足した年の昭和 40 年 11 月 16 日、総会を開き県連合会に加入する。平成 16 年 11 月 1 日高萩市・日上市危険物安全協会と改名、その後旧十王町の脱会により、平成 20 年 4 月 1 日に高萩市危険物安全協会と改名し今日に至る。

本協会は会員相互の親睦を図ると共に危険物の取扱管理の向上を図り危険物に基因する災害を防止し、事業の円滑なる発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

- | | |
|--------|--|
| 1 会 員 | 48 事業所(令和元年度) |
| 2 予 算 | 年間 604,000 円（会員の拠出による。令和元年度予算） |
| | 年間 S1 級 31,000 円 S2 級 24,000 円 |
| | S3 級 17,000 円 |
| | A 級 15,000 円 B 級 13,000 円 |
| | C 級 11,000 円 D 級 7,000 円 |
| 3 事業内容 | (1) 危険物の取扱い管理に関する研究
(2) 関係法令の周知徹底
(3) 危険物に基因する災害予防に関する宣伝及び講習会の開催
(4) 危険物取扱者のための講習会、講演会等の開催
(5) 関係図書の購入、頒布及び斡旋
(6) 会員の弔慰金並びに餞別金に関する事項
(7) その他本協会の目的を達成するための必要なる事項 |
| 4 会 長 | 山口 直樹（高萩商事株式会社） |

高萩市婦人消防クラブ連絡協議会

当市は面積が広く、旧高岡村は市の中心部から13～21kmの山間部にある。

昭和45年3月、地域総出で山林作業中、子供の火遊びにより41棟が全焼、7棟が半焼するという大火が発生し、甚大な被害を受けた。これに鑑み、火災予防と消防技術の練成のため、下記のとおり地区婦人消防クラブを結成し、万一に備え消防機械の取り扱い訓練などを実施している。またこれらが連絡機関として地区正副会長による高萩市婦人消防クラブ連絡協議会を昭和46年7月に結成、市も同年度から補助金を出して育成を図っている。

1 クラブ別会員数

(R2年3月31日現在)

名 称	設立年月日	会員数
下君田婦人消防クラブ	S46.2.6	22名
上君田婦人消防クラブ	S46.2.14	43名
大能婦人消防クラブ	S46.3.10	6名
中戸川婦人消防クラブ	S47.3.1	17名
計		88名
※横川婦人消防クラブ	S46.2.29	H22.3.8 廃部
※若栗婦人消防クラブ	S46.3.1	H22.3.8 廃部

- 2 活動内容
- (1) 火災や自然災害の時に地域住民の避難補助や救援を行う
 - (2) 役員会・総会を実施し事業計画や情報交換を行う
 - (3) 各地区において消火器の取扱い、応急手当の訓練を実施
 - (4) 視察研修の実施
 - (5) 幼年少年婦人防火大会に参加
 - (6) 秋季全国火災予防運動啓発の実施
 - (7) 小型可搬ポンプ定期点検及び放水訓練の実施
 - (8) 春季全国火災予防運動啓発の実施

3 会 長 鈴木 幸江